

ものづくりを通じ
人々に笑顔と感動を柳井宏之さん(54)
山口県・宇部教会

多様な工作機械が並ぶ工場に、金属を削る甲高い音が響く。山口県宇部市の宇部テクノパークに、機械部品を製造する柳井宏之さんの会社「伸和精工」はある。父親（尉彰・81）が一九六八年に創業し、二〇一三年に跡を継いだ。『ものづくり』の原点は、小学校高学年のときの出来事にある。祖父が家電を修理する姿を見て育った柳井さんは、友人が教室のストーブの電源コードに足を引っかけて断線させた際、その場で直してみせた。すると「すげー！」と歓声が上がった。みんなの喜ぶ姿がうれしく、誇らしさを感じた柳井さんは、ものづくりで多くの人を笑顔にしたいと思うようになった。

大学卒業後に電気工事会社で経験を積んだのち、二十七歳で家業へ。当時はITバブル崩壊

の影響で経営が厳しかったが、工業製品の展示会や研修会に参加して知見を深め、設備投資と技術力の向上に努めた。それが奏功し、新分野の受注を獲得して事業を着実に広げていった。現在は産業機械の部品製造のほか、大学病院と共同で鑷子（ピンセット）や脊椎インプラントといった医療機器の製作なども請け負う。

柳井さんのモットーは、どんな依頼にも真摯に向き合うこと。採算が合わない可他社で断られた製品開発も、「すぐに利益にはならなくても、技術力を生かして困っている人の力になりたい」とできる限り引き受ける。相手を思い、挑戦する姿勢は、客との縁を大切にする父親の背中と、青年部長や渉外部長をつとめた立正佼成会宇部教会での経験から学んだ。

近年は航空宇宙産業にも参入し、民間の超小型人工衛星の部品開発も手がける。「お客さまの感動が一番の幸せ。一期一会の心で社会や世界に貢献する仕事を続けたい」と意気込む。



株式会社 伸和精工
〒759-0132 山口県宇部市大字山中 700-21